

スポーツと運動における心臓自律神経系活動の変化と適応

著者	菅原 順
著者別名	Sugawara Jun
内容記述	筑波大学博士（体育科学）学位論文・平成12年3月24日授与（甲第2437号）
発行年	2000
URL	http://hdl.handle.net/2241/6548

付記

研究業績

著者の研究業績を以下に記す。

論文発表

【原著論文】

- (1) 萱原順, 鍋倉賢治, 松田光生. 持久性トレーニングが心臓自律神経活動に及ぼす影響. 臨床スポーツ医学 14 (6): 679-682, 1997.
- (2) 萱原順, 濱田豊, 鍋倉賢治, 西嶋尚彦, 松田光生. 運動終了後の副交感神経活動の評価法とコンディショニングにおける応用. 体力科学 48: 467-476, 1999
- (3) 萱原順, 村上晴香, 久野譜也, 松田光生. 若齢男性における持久性トレーニングお脱トレーニングが安静時心臓自律神経系活動に及ぼす影響. 体力科学 49: (印刷中)
- (4) 萱原順, 相馬りか, 坂戸英樹, 久野譜也, 前田清司, 石津政雄, 鯨坂隆一, 松田光生. 中高齢者における運動終了後の心臓副交感神経活動回復応答に及ぼすトレーニングの効果. 日本臨床スポーツ医学会誌 (印刷中)

学会発表

【国際学会】

(1) J. Sugawara, H. Murakami, S. Kuno, M. Matsuda. The effect of exercise training and detraining on autonomic nervous function. The 46th Annual Meeting of the American College of Sports Medicine (June 2-5, 1999) June 4, 1999. Seattle, WA, U.S.A.

【国内学会】

- (1) 萱原順, 鍋倉賢治, 松田光生. 持久性トレーニングが心臓自律神経系活動に及ぼす影響. 第51回日本体力医学会大会(1996年9月18日~20日) 1996年9月20日 広島
- (2) 萱原順, 松田光生. 運動終了後の副交感神経再興奮過程の日内変動-朝型及び夜型の睡眠-覚醒パターンによる比較-. 第6回日本運動生理学会大会(1998年7月11日~12日) 1998年7月12日 福岡
- (3) 萱原順, 濱田豊, 松田光生. 運動負荷に対する副交感神経反応性の簡易評価法の検討. 第53回日本体力医学会大会(1998年9月21日~23日) 1998年9月22日 横浜
- (4) 萱原順, 湯川英昭, 白井克佳, 斉藤実, 鍋倉賢治, 松田光生. 運動負荷後の心拍数減少率によるコンディション評価-大学陸上長距離選手における検討-. 第25回日本体力医学会総会記念日本体力医学シンポジウム(1999年3月13日~14日) 1999年3月14日 東京
- (5) 萱原順, 相馬りか, 久野譜也, 岡田守彦, 石津政雄, 鯉坂隆一, 松田光生. 中高齢者における運動終了後の心臓副交感神経活動回復応答に及ぼすトレーニングの効果-大洋村健康づくりプロジェクト15-. 第54回日本体力医学会大会(1999年9月29日~10月1日) 1998年9月30日 熊本
- (6) 萱原順, 村上晴香, 久野譜也, 松田光生. 持久性トレーニングに伴う運動終了後の心臓副交感神経系活動回復応答の変化-最大酸素摂取量との関連性-. 第7回日本運動生理学会大会(1999年10月9日~11日) 1999年10月10日 東京